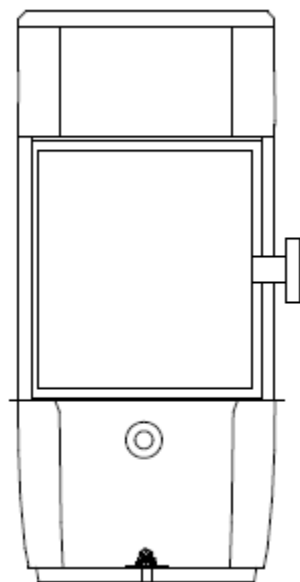


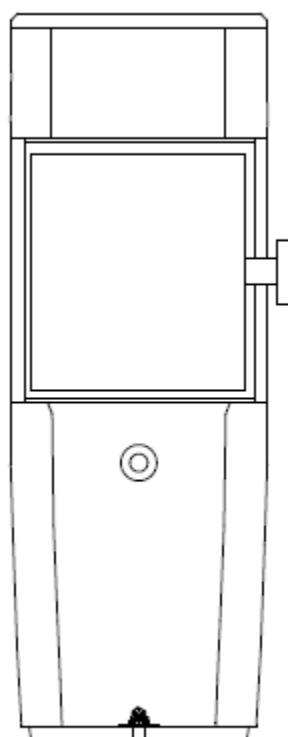
JØTUL F 170

JØTUL F 170

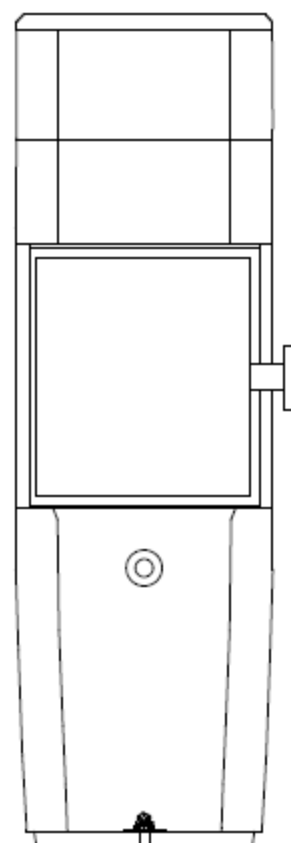
JØTUL 機種別取扱説明書



JØTUL F 171



JØTUL F 174



JØTUL F 176



目次

1. 正しく安全にお使いいただくために
2. 製品仕様
3. 薪について
4. センソリックとは
 - ・ ご使用方法
 - ・ センソリック(自動空気調整システム)
5. 各種操作方法
 - ・ フロントドアの開閉
 - ・ マニュアルエアーコントロール(手動にて設定)
 - ・ 灰受け皿の取り出し
6. メンテナンスについて
 - ・ 扉のガスケットの取替え
 - ・ ガラスのお手入れ
 - ・ バーンプレート・バツフルのお手入れ
7. 参考図
8. パーツリスト

1. 正しく安全にお使いいただくために

正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読み下さい。お読みになった後は、いつでも見られる所に保管して下さい。

- ・ コーシオンプレートと保証書は大切に保管して下さい。ヨツールクオリティーシステムのサービスやメンテナンスを受ける際にご提示いただく場合があります。
- ・ 本体及び煙突は高温となります。直接手で触れないようにし、扱う際は必ず耐火製のグローブを着用して下さい。
- ・ 正しく使用されない場合、火災事故や火傷や死亡事故につながる場合があります。
- ・ 使用時に薪がはぜる(火の粉が飛ぶ)ことがあります。必ず本体扉を閉めてお使い下さい。
- ・ 安全にお使いいただくために、定期的なメンテナンスを行って下さい。
- ・ ヨツールの製品は、生産物賠償責任制度に加入しています。

2. 製品仕様

製品名	Jøtul F 171 / 174 / 176
本体寸法	Jøtul F 171 : H1100 W540 D415(mm) Jøtul F 174 : H1400 W540 D415(mm) Jøtul F 176 : H1600 W540 D415(mm)
重量	Jøtul F 171 : 148 kg Jøtul F 174 : 169 kg Jøtul F 176 : 183 kg
定格出力	5.0kW(4,300kcal/h)
薪長(最大)	水平 30cm/垂直 35cm
暖房面積	100 m ² (30 坪)
試験データ	76%@5.0kW(燃焼効率@出力)
適切な薪量	1.8kg/h(定格出力より算定) ※1
燃焼方式	クリーンバーン(2次燃焼方式)
煙突径	150mm
煙突方向	上・後
本体カラー	ブラックペイント

※1 ヨツール・オーナーズ・トレーニングチェック項目です。薪を入れすぎた状態で使用すると過燃焼になり本体を破損する場合があります。機種により、適切な薪の量が示されています。

3. 薪について

◆最適なサイズの薪を使用する事で、乾燥しやすく、燃料として理想的にご使用いただく事が出来ます。少なくとも 2 種類の乾燥している薪を用意しましょう。

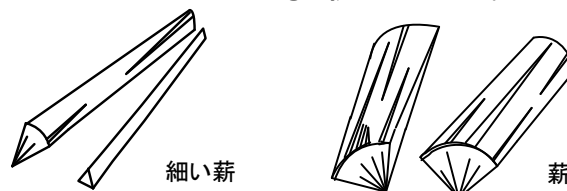
・推奨する薪

＜焚き付けの薪＞

・長さ: 20～23cm／重さ: 0.5 kg／投入量: 14～16 本

＜通常使用時の薪(割ってある物)＞

・長さ: 27～30 cm／重さ: 0.9 kg／投入量: 2～3 本



＜注意＞薪の投入について

- ・薪が本体手前のガラス面に倒れてこないように注意し、立てる場合は、背面に立てかけてください。
- ・ストーブ炉内背面のクリーンバーン空気流入口より上に薪を積み上げないようご注意ください。(Fig.E)
- ・投入する薪量を守ってご使用下さい。

4. センソリックとは

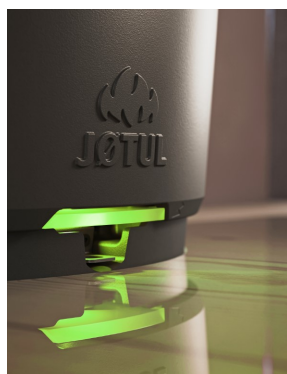
ヨツール社独自の「自動空気調整システム」です。

バッテリー搭載の薪ストーブで、空気調整を自動で行います。常に温度レベルを監視し、手動操作では調整が難しい空気量等を自動で微調整することで、高効率な燃焼と最小限の環境負荷の燃焼を実現します。

<ご使用の手順>

- ① 扉を開け緑色のシグナルが点灯していることを確認してください(下図④)。緑色は薪ストーブが使用可能な状態になっていることを示しています。ライトの色、点滅回数によって内容が異なります。詳細は次ページをご確認下さい。
- ② 薪を燃焼室に積み、トップダウン方式で着火をし、扉を閉めてください。必ず乾燥した薪をご使用ください。
- ③ クリーンな燃焼をお楽しみください。
- ④ 薪の追加のタイミングはシグナルがお知らせします。

ターシャリーホール
(クリーンバーン空気流入口)



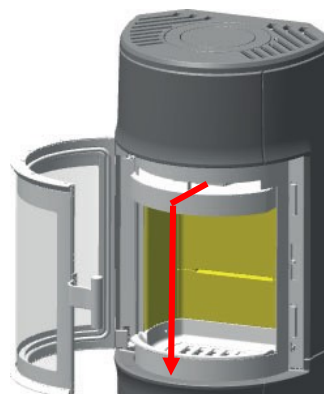
<注意>

一度に多くの薪を入れず、一度に入れる量は少量にし、こまめに焚くことをお勧め致します。薪を追加する際は、ターシャリーホール(上図)を覆うほど薪を入れないようにご注意ください。燃焼用空気流入口になるため、空気の流入を妨げる恐れがあります(着火時を除く)

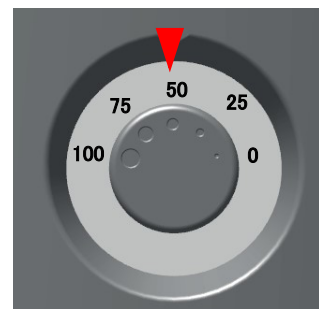
※マニュアルエアコントロール(手動での設定が可能)

ガラス内側上部(右図)からの燃焼用空気(エアウォッシュ)のみ手動にて設定ができます。本体正面の空気調整部を回転させて0~100%までの5段階で調整が可能です。焚き始めは空気調整部を100%に合わせ、火勢が強まってきたら、25~75%までの設定でご使用下さい。

<右回転: 空気量多 左回転: 空気少>



燃焼用空気流入部
(エアウォッシュ空気)



空気調整部

センソリック シグナルガイド

- 緑色の点滅 1 回 = 空気調整テスト OK
- 緑色の点滅 8 秒毎 1 回繰返し = 薪投入してください
- 青色の点滅 8 秒毎 2 回繰返し = 充電をしてください

- 赤色の点滅 1 回 = 空気調整エラー
- 赤色の点滅 2 回 = バッテリー残量少、センソリック(自動燃焼システム)がオフになります。
- 赤色の点滅 3 回 = 温度センサーエラー
- ストープ着火前ドアを開いた時 LED が点滅しない = ドアセンサーエラー

充電時:

赤色点灯 = 充電中

赤点灯消 = 充電終了

エラーが発生した場合はストープ販売店へお問合せください。

センソリックのリセット

リセットを行う場合は、最初にストープ背面下部にある USB Type-C ポート付/OUT PUT 5V(ボルト)の充電器を本体に接続します。次に充電器を外し 30 秒経過後にドアを開けるとセンソリックがリセットされます。

5. 各種操作方法

＜フロントドアの開閉＞

フロントドアハンドルを手前に引き、左側へ扉を開けます。
閉める時は扉を押しながら、しっかりと閉めます。

＜センソリック(自動空気調整システム)＞

全体の空気調整は自動空気調整システムセンソリックが、ストーブ使用中の適切な空気量を、自動的に調整します。
ドアを開けた時、本体下部にある LED (Fig. A) がストーブ使用中の必要なお知らせをします。

＜センソリック(自動空気調整システム)の充電＞

センソリックはバッテリー駆動で 1 回 (約 2-3 時間) の充電で約 500 時間使用する事ができます。その後はストーブシーズン終了後に充電する事をお勧めします。充電接続口はストーブ正面下部にあります (Fig. B)。

※接続部を手前に引き、充電プラグを差し込む。

※製品発送時に充電をしておりますが、ご使用前に一度充電いただくことをお勧め致します。

＜注意＞

充電は、必ず USB Type-C ポート付/OUTPUT 5V (ボルト) の充電器を使用してください (USB ケーブルのみ付属品有)。ストーブ使用中に充電はしないでください。

・マニュアルエアコントロール(手動での設定が可能)

ガラス内側上部からの燃焼用空気(エアウォッシュ)のみ手動にて設定ができます。本体正面の空気調整部を回転させて 0~100% までの 5 段階で調整が可能です。

焚き始めは空気調整部を 100% に合わせ、火勢が強まってきたら、25~75% までの設定でご使用下さい。(Fig.B)

・灰受け皿の取り出し

扉を開けた状態で、灰が落ちない様にグレートを上を開いてから、耐火手袋で灰受け皿の取手を持ち引き出します。(Fig. C)

＜注意＞

本体が完全に冷めたことを確認の上、灰受け皿を取り出して下さい。灰受け皿内の灰残量が 3/4 程度になったら必ず空にしてからストーブを使用してください。灰受け皿から灰が溢れると周辺の空気取入口を塞いでしまいます。

6. メンテナンスについて

定期的なメンテナンスの際に、消耗品の交換をしましょう。
作業を行う前に、不明点は必ず販売店へご相談下さい。

・扉のガスケットの取替え

扉の周囲につけて気密性を保つガスケットは、使用に伴って消耗してきます。扉のガタつきや空気漏れ、ガスケットそのものに「へたり」が見られたら交換時期です。(Fig. D)

- ① ガスケットをはがして、溝にこびりついている耐火セメントをドライバーやワイヤーブラシで取り除きます。
- ② ガスケット専用の接着剤を溝に薄く塗布します。
- ③ 新しいガスケットを、隙間なく押し込みます。常温で 3 時間以上乾燥させます。

・ガラスのお手入れ

製品にはエアウォッシュシステムが装備されています。本体上部からガラスの内側に沿って空気が流れます。ある程度の煤は煙突のドラフトや燃焼レバーの調整具合によってガラスに付着しますが燃焼調整レバーが開いている時や炉内で炎が活発に燃えている時に消散します。

通常のクリーニングは、薪ストーブが冷めた状態を確認して、ぬれた布に灰を少しつけてガラスを磨きます。最後に乾燥した布で拭いてください。

落ちにくい煤や汚れは、ガラスクリーナーを塗布し、乾いた布等できれいに除去して下さい。また、ガラスにヒビや割れ等が生じた場合は、直ちに使用を中止して、新しいものと交換して下さい。

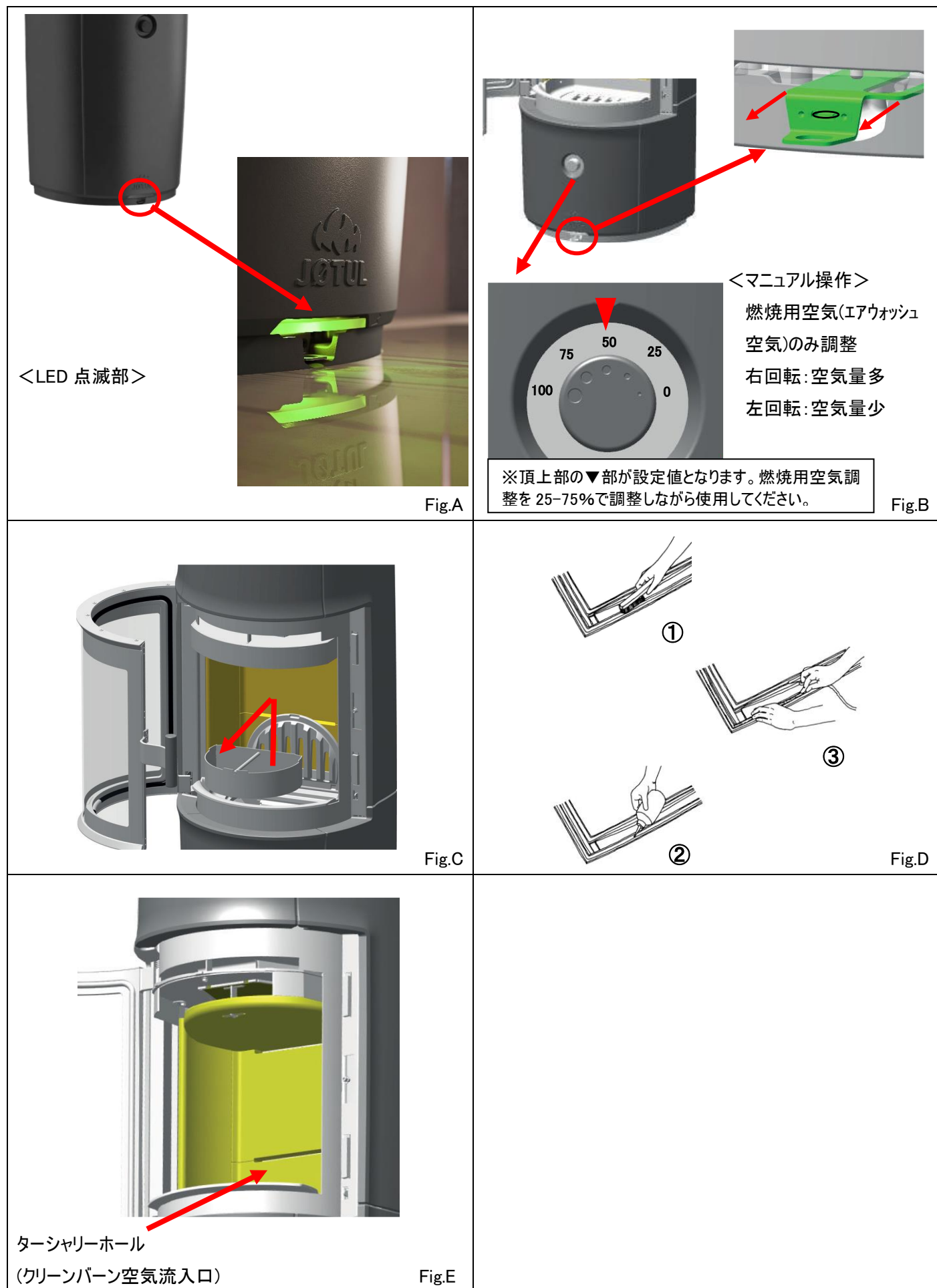
＜注意＞

ガラスクリーナーがガスケットや塗装面へ付着しない様にしてください。変色やキズの原因となります。

・バーンプレート、バッフルプレートのお手入れ

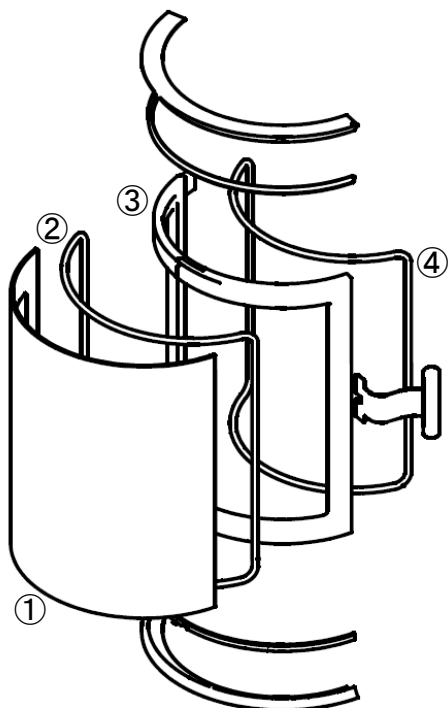
プレート全体にクレオソート等の汚れが付きますので、気になる場合はブラシ(バーミキュライト素材は傷が付きますので注意してください)をかけて汚れを取り除いて下さい。ヒビ割れ、変形が生じた場合は、直ちに使用を中止して新しいものと交換して下さい。そのまま使い続けると、暖炉本体の寿命を縮めます。

7.参考図



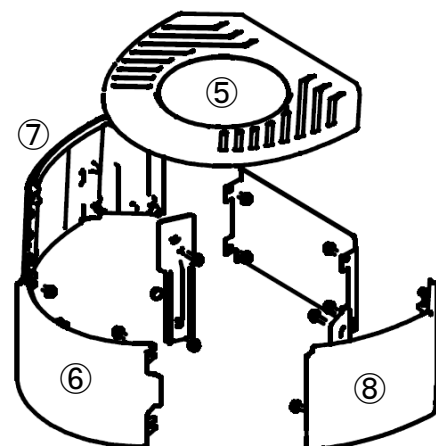
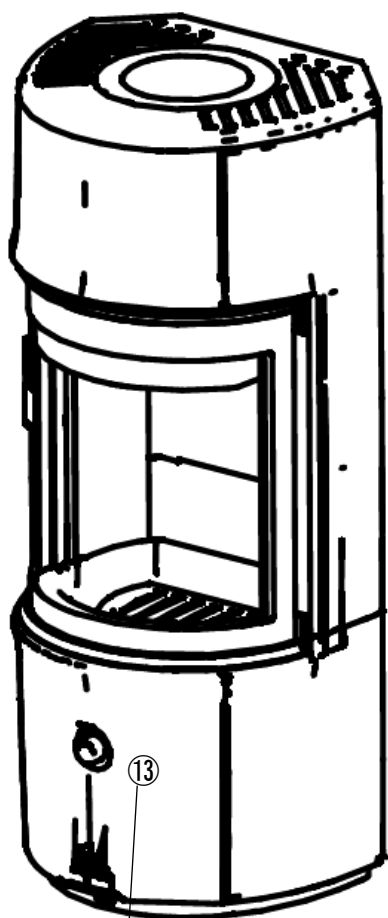
7. JOTUL F 170 パーツリスト

※JOTUL F 176 のみ

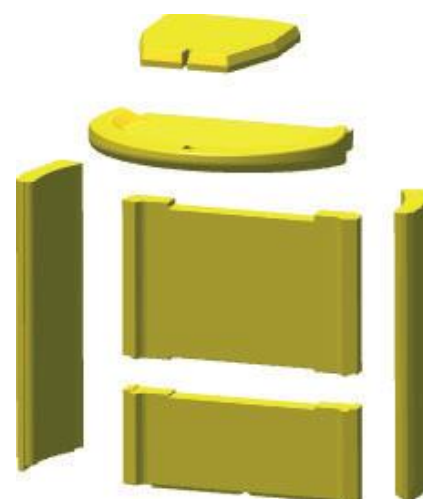


- ① 51063056 フロントガラス
- ② 51063058 ガラスガスケット
- ③ 51063041 フロントドア
- ④ 51063586 ドアガスケット

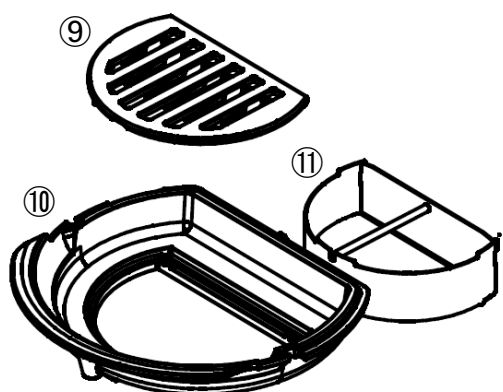
JOTUL F 170



- ⑤ 12063652 トッププレート
- ⑥ 12063651 フロントプレート
- ⑦ 12063649 サイドプレートレフト
- ⑧ 12063650 サイドプレートライト



- ⑫ 51063044 バッフル/
バーンプレートセット



- ⑨ 51063040 インナーボトム BP
- ⑩ 51063042 グレート BP
- ⑪ 51063043 アッシュトレイ BP

- ⑬ LED ライト



「ヨツール・クオリティー・システム」は、正規のヨツール・ディーラーでご購入された製品だけがサービスの対象です。製品には、ご購入時に保証書と一緒にコーションラベルが貼付または同梱されていますので、必ずご確認ください。※ヨツール本社の保証規定に従い、正規輸入品のみの保証とさせていただきます。

ヨツール日本総代理店



株式会社 メイク

東京ショールーム

〒101-0043 東京都千代田区神田富山町 5-1 神田ビジネスキューブ1F
TEL_03-6418-4822

つくばショールーム

〒300-0847 茨城県土浦市卸町 2-5-25
TEL_029-841-5147 FAX_029-843-8421